

開設講座名	国語の多面性を探る	開設日	2021年 8月20日 (金)
担当者	武田 昌憲、畠山 真一	会場	尚綱大学 武蔵ヶ丘キャンパス (熊本県菊池郡菊陽町)
受講定員	30人	主な受講対象者	中学校・高等学校国語科教員
受講料	6,000円	時間数	6時間
講習内容	本講習の前半では、中学・高校での授業で必ず取り上げる『平家物語』の多面的理解と読み・諸本の面白さを踏まえ、古典の持つ面白さと魅力を生徒に気付かせる手立ての一つを提唱する。後半では、近年増加してきた「外国人生徒」への日本語教育にまつわる問題を検討し、長期的な日本語教育（日本語サポート）が必要であることを述べる。また、バイリンガル教育からの知見に基づき、学習言語獲得の重要性について述べる。教授法に関しては、初期段階においては、チーム・ティーチング、TPRの有効性を主張したい。		

8月20日(金) 午前	講習テーマ	古典（平家物語）の多面性を探る	武田 昌憲
	講習の到達目標及びテーマ	1. 新学習指導要領における古典教育の確認と理解 2. 『平家物語』の最近の研究動向等 3. 『平家物語』の「祇王」「俊寛」の国際性・諸本の面白さ 4. 『平家物語』の「那須与一」の心理と気候と文学性等について	
	講習の概要	最近の軍記物語・『平家物語』等の研究動向を踏まえ、これに中世の国際動向をとらえながら「祇王」や（時間があれば）「俊寛」周辺を探る。次に「那須与一」についての故実・信仰・心理・気候の変化についての関連性について述べる。 また、教材では取り上げられない諸本の違いが、古典の魅力及び地域とのつながりを投影することもある。この点についても言及する。	
	形態	講義	
	テキスト	こちらでプリント配付	
	事前準備	不要	
	評価	修了認定のための筆記試験を講習時間内に行う。(50点)	
	講習受講希望者への事前連絡	特になし。	

8月20日(金) 午後	講習テーマ	外国ルーツの児童・生徒に向けた日本語指導	畠山 真一
	講習の到達目標及びテーマ	1. 第二言語習得研究の動向 2. バイリンガル研究の動向 3. さまざまな外国語教授法	
	講習の概要	本講義では、近年増加を続ける外国ルーツの児童・生徒に向けた日本語指導のあり方について議論する。具体的には、バイリンガル研究からの知見である生活言語と学習言語の差について議論し、外国ルーツの児童・生徒が直面する言語的問題（=学力的問題）を明らかにしつつ、実際の日本語教授法としてどのような形態が有効であるかを述べていく。	
	形態	講義	
	テキスト	当日配付	
	事前準備	不要	
	評価	修了認定の為のレポートを講習時間内に作成し、それに基づき評価する。(50点)	
	講習受講希望者への事前連絡	特になし。	